**名前　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度　　　　　　/100**

Q.　動画内で紹介した経年変化で起きることについて、空欄に適切な語を記入、もしくは選択しなさい。　　　 ※同じ番号が繰り返し出てくる箇所は、最初の番号に記載せよ

１．経年によって、木材の表面に起きる変化を➀（　　　　　　　　　　）という。

屋内ではあめ色に変化していき、仕上げ材として味わいが増し、経年美化と呼べるものである。

また、樹種によっては色が抜けていくものもあり、色の変化は②（　数年　/　数十年　/　数百年　）で落ち着く。

木は室内でもお手入れをすることで、新築時よりも好ましい仕上がりに変化していく。

２．

屋外では、③（　　　　　　　　　）による動きで亀裂が発生。④（　　　　　　　）を吸収することや、雨風の影響で穏やかに浸食され、表面が⑤（　凹凸　/ 滑らか　）になっていくこと、色が抜けてグレー化していくことを⑥（　　　　　　　　　　　　　）という。これは、お手入れによって進行を遅らせることができる。

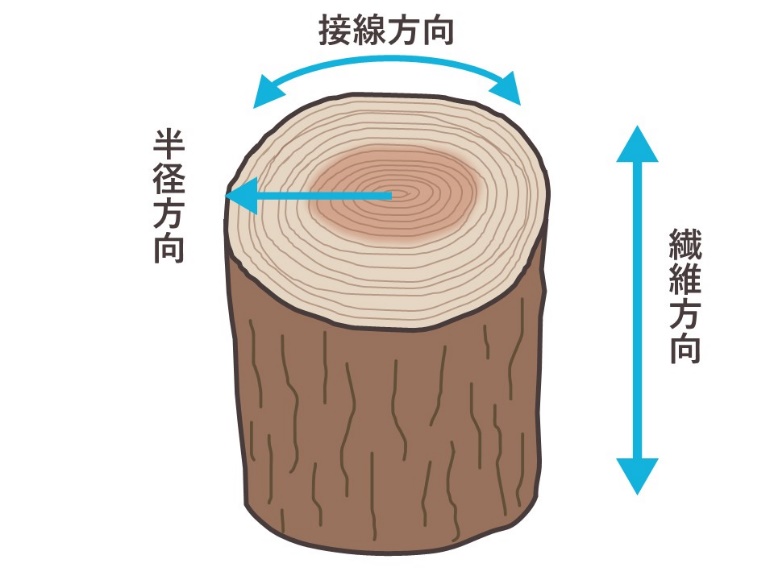
３．

木が湿った状態では、⑦（　　　　　　　）や⑧（　　　　　　　　）が発生する。屋外では⑨（　　　　　　）の掛かる場所、屋内では浴室・洗面所や台所などの⑩（　　　　　　　）や⑪（　　　　　　　）する場所で発生する。

表面の変化で⑫（　　　　　）的な影響は小さいが、美観上気になる場合や屋内では、薬剤を利用し抑制・除去する。

構造に深刻な影響を与えるのは木材の⑬（　　　　　　）と⑭（　　　　　　　）による食害であるが、被害の要因と危険個所は限られているので、⑮（　　　　　　）とお手入れで防ぐことができる。木材を現わしで使うと構造材が見えているので⑮（　　　　　　）が容易で大事に至る前に、発見できる。

４．木材の変形、収縮・割れは⑯（ ）が進み、⑰（ ）率が⑱（ ）％以下になると起こる。木材の⑰（ ）率は、分母が⑱（ ）の重さ、分子が⑲（ ）の重さで表される。

変形は、接線方向と半径方向の⑳（ ）率の違いにより発生するが、接線方向は半径方向の㉑（　　　）倍の⑳（ ）率の為、外周側が多く縮んで反ったり、割れたりする。割れは㉒（　　　　）に向かって発生するが、部材を貫通する割れでなければ構造的な問題はない。

繊維方向の⑳（ ）率は、半径方向の㉓（　　　　）分の１と小さい。

変形を抑制するためには、利用する前に十分に乾燥させることが大切で、㉔（　自然にゆっくり　/ 人工的に急速に　）乾燥させたり、表面を㉕（ 低温　/ 高温 ）にするなど、様々な乾燥技術が開発されている。